

モゲ散歩

20221105

道了堂跡

絹の道道標

絹の道



1874年（明治7年）に鎌水商人が浅草花川戸から道了尊を勧請したことが始まりである。曹洞宗大塚山大岳寺の跡。

「絹の道」の名称は、昭和32年（1957年）郷土史家の橋本義夫による絹の道碑の建立からといわれる。幕末から明治初期にかけて横浜に送る絹糸を運んだ道。1908年に横浜鉄道が開設されると急速に衰退する。



絹の道資料館

道標

小泉家住宅



生糸商人、八木下要右衛門の屋敷跡が絹の道資料館。石垣が見どころである。中には様々な資料が展示される。

慶応8年に建てられた道標。八王子と横浜を結んだことが分かる。

明治11年に建てられた住宅。母屋・土蔵納屋などがある。現在居住中。